

科目名	キャリア教育1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田原佑一 郎
学科・コース	TSM渋谷研究科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	(1)自分の能力を最大限に発揮するため自分を知りビジョンを明確にする (2)音楽業界で活動して行くために必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力高める 以上の二点を目的としたクラスです。自分自身を好きになる、目的を明確にする、他人と良好な人間関係が築けること社会に出て活躍できる人材になってほしいと願っています。さまざまなワークやプレゼンを行なっていきます。						
到達目標	人生の目的と目標を明確にし、自分自身を好きになる。人前でのプレゼンテーション能力を高める。他人と良好な人間関係を築く基礎技術を得る。						
評価方法と基準	筆記50%、実技50%による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	プレゼンテーション効果を理解し実践できる。	プレゼンテーション効果を理解しレポート作成
2		演習	プレゼンテーションの伝わり方を確認し実践できる。	プレゼンテーションの練習をする。
3		演習	討論についての実践し、理解しコミュニケーションを作ることを実践する	討論についての実践し、理解しコミュニケーションを作ることを実践練習しプレゼンテーションしてみる。
4		演習	討論についての実践し、理解しコミュニケーションを作ることを実践する	討論についての実践し、理解しコミュニケーションを作ることを実践練習しプレゼンテーションしてみる。
5		演習	Win-win 相互理解、共有しより効果的に成果をだす技術を理解し実践する。	Win-win 相互理解、共有しより効果的に成果をだす技術を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。
6		演習	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践する。	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。
7		演習	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践する。	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。
8		演習	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践する。	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。
9		演習	価値観を確認し目標達成する力を習得し実践する。	価値観を確認し目標達成する力を習得し実践練習しプレゼンテーションしてみる。
10		演習	目標を達成するためのセルフマネジメントを理解し実践する	目標を達成するためのセルフマネジメントを理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。
11		演習	価値観を確認しプランニングするスキルをつけ実践する・	価値観を確認しプランニングするスキルをつけ実践練習しプレゼンテーションしてみる。
12		演習	価値観を確認し検証するスキルをつけ実践する・	価値観を確認し検証するスキルをつけ実践練習しプレゼンテーションしてみる。
13		演習	価値観と現状との比較をして、ポイントを確認。これらを理解し説明できる	価値観と現状との比較をして、ポイントを確認。これらを理解し説明できる
14		演習	プレゼンテーション効果を理解し実践できる。	プレゼンテーション効果を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。
15		演習	試験と復習	振り返りレポート作成
準備学習 時間外学習			目標達成するためのセルフマネジメントを習得する。プレゼンテーションとレポート作成、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田原佑一 郎
学科・コース	TSM渋谷研究科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	(1)自分の能力を最大限に発揮するため自分を知りビジョンを明確にする (2)音楽業界で活動して行くために必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力高める 以上の二点を目的としたクラスです。自分自身を好きになる、目的を明確にする、他人と良好な人間関係が築けること社会に出て活躍できる人材になってほしいと願っています。さまざまなワークやプレゼンを行なっていきます。						
到達目標	人生の目的と目標を明確にし、自分自身を好きになる。人前でのプレゼンテーション能力を高める。他人と良好な人間関係を築く応用技術を得る。						
評価方法と基準	筆記50%、実技50%による採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	高度なプレゼンテーション効果を理解し実践できる。	プレゼンテーション効果を理解しレポート作成	
2		演習	高度なプレゼンテーションの伝わり方を確認し実践できる。	プレゼンテーションの練習をする。	
3		演習	高度な討論についての実践し、理解しコミュニケーションを作ることを実践する	討論についての実践し、理解しコミュニケーションを作ることを実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
4		演習	高度な討論についての実践し、理解しコミュニケーションを作ることを実践する	討論についての実践し、理解しコミュニケーションを作ることを実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
5		演習	Win-win 相互理解、共有しより効果的に成果をだす技術を理解し実践する。	Win-win 相互理解、共有しより効果的に成果をだす技術を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
6		演習	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす高度な方法を理解し実践する。	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
7		演習	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす高度な方法を理解し実践する。	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
8		演習	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす高度な方法を理解し実践する。	お客様と心を共存する状態をパフォーマンスステージに活かす方法を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
9		演習	価値観を確認し目標達成する応用力を習得し実践する。	価値観を確認し目標達成する力を習得し実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
10		演習	目標を達成するための高度なセルフマネジメントを理解し実践する	目標を達成するためのセルフマネジメントを理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
11		演習	価値観を確認し高度なプランニングをするスキルをつけ実践する・	価値観を確認しプランニングするスキルをつけ実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
12		演習	価値観を確認し検証する高度なスキルをつけ実践する・	価値観を確認し検証するスキルをつけ実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
13		演習	価値観と現状との比較をして、ポイントを確認。これらを活用して理解し説明できる	価値観と現状との比較をして、ポイントを確認。これらを活用して理解し説明できる	
14		演習	高度なプレゼンテーション効果を理解し実践できる。	プレゼンテーション効果を理解し実践練習しプレゼンテーションしてみる。	
15		演習	試験と復習	振り返りレポート作成	
準備学習 時間外学習			目標達成するためのセルフマネジメントを習得する。プレゼンテーションとレポート作成、週4時間をかける。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Vocal Leading 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	河田 麻 希
学科・コース	TSM渋谷研究科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	実技と筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	イヤートレーニング3を復習理解し説明ができる	イヤートレーニング3の復習・確認レポート作成
2		講義	ペンタトニック・スケール（メジャー、マイナー）理解し説明ができる	ペンタトニック・スケール（メジャー、マイナー）の復習確認レポート作成
3		講義	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
4		講義	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
5		講義	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
6		講義	クロマチック・スケールとスケール・モードの習得し理解し説明ができる	クロマチック・スケールとスケール・モードの復習確認レポート作成
7		講義	クロマチック・アプローチを含むメロディー習得し理解し説明ができる	クロマチック・アプローチを含むメロディー確認レポート作成
8		講義	中間試験、中間課題の発表・提出。	中間試験、中間課題準備
9		講義	転調について実践習得し理解し説明ができる	転調について実践確認レポート作成
10		講義	転調を含むメロディーを作って習得し理解し説明ができる	転調を含むメロディー確認レポート作成
11		講義	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー習得し理解し説明ができる	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー確認レポート作成
12		講義	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー習得し理解し説明ができる	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー確認レポート作成
13		講義	無調的なメロディー習得し理解し説明ができる	無調的なメロディー確認レポート作成
14		講義	無調的なメロディー習得し理解し説明ができる	無調的なメロディー確認レポート作成
15		講義	学期末試験及び、学期末課題の発表・提出。	学期末課題の発表・提出。
準備学習 時間外学習			聴力、音感に関するスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vocal Leading2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	河田 麻 希
学科・コース	TSM渋谷研究科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	実技と筆記による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	イヤートレーニング2を理解し説明できる。	授業概要の説明とイヤートレーニング2の復習レポート作成	
2		講義	実際のメロディー：順次進行の多い、水平的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：順次進行の多い、水平的なメロディーの復習レポート作成	
3		講義	実際のメロディー：順次進行の多い、水平的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：順次進行の多い、水平的なメロディーの復習レポート作成	
4		講義	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーの復習レポート作成	
5		講義	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーの復習レポート作成	
6		講義	実際のメロディー：モチーフを発展させたメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：モチーフを発展させたメロディーの復習レポート作成	
7		講義	実際のメロディー：モチーフを発展させたメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：モチーフを発展させたメロディーの復習レポート作成	
8		講義	中間試験、中間課題の発表・提出。	中間試験及び中間課題準備	
9		講義	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：ミクソリディアンを理解し説明できる。	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：ミクソリディアン	モード(ダイアトニック・コード・スケール)の復習レポート作成
10		講義	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：リディアンを理解し説明できる。	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：リディアン	モード(ダイアトニック・コード・スケール)の復習レポート作成
11		講義	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：ドリアン	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：ドリアン	モード(ダイアトニック・コード・スケール)の復習レポート作成
12		講義	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：フリジアン	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：フリジアン	モード(ダイアトニック・コード・スケール)の復習レポート作成
13		講義	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：ロクリアン	モード(ダイアトニック・コード・スケール)：ロクリアン	モード(ダイアトニック・コード・スケール)の復習レポート作成
14		講義	ダイアトニック・モード(ダイアトニック・コード・スケール)を理解し説明できる。	ダイアトニック・モード(ダイアトニック・コード・スケール)	ダイアトニック・モード(ダイアトニック・コード・スケール)の復習レポート作成
15		講義	学期末試験及び、学期末課題の発表・提出。	学期末課題の発表・提出。	
準備学習 時間外学習			聴力、音感に関するスキル習得。準備復習研究時間として週4時間		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	ソルフェージュ1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	河田 麻 希
学科・コース	TSM渋谷研究科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ソルフェージュを理解し説明できる。	授業概要の説明とイヤートレーニング2の復習レポート作成
2		講義	実際のメロディー：順次進行の多い、水平的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：順次進行の多い、水平的なメロディーの復習レポート作成
3		講義	実際のメロディー：順次進行の多い、水平的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：順次進行の多い、水平的なメロディーの復習レポート作成
4		講義	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーの復習レポート作成
5		講義	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーの復習レポート作成
6		講義	実際のメロディー：モチーフを発展させたメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：モチーフを発展させたメロディーの復習レポート作成
7		講義	実際のメロディー：モチーフを発展させたメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：モチーフを発展させたメロディーの復習レポート作成
8		講義	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーを理解し説明できる。	実際のメロディー：跳躍、幅広い跳躍を含む、垂直的なメロディーの復習レポート作成
9		講義	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：ミクソリディアンを理解し説明できる。	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：ミクソリディアンを復習レポート作成
10		講義	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：リディアンを理解し説明できる。	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：リディアンを復習レポート作成
11		講義	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：ドリアンを理解し説明できる。	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：ドリアンの復習レポート作成
12		講義	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：フリジアンを理解し説明できる。	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：フリジアンの復習レポート作成
13		講義	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：ロクリアンを理解し説明できる。	モード（ダイアトニック・コード・スケール）：ロクリアンの復習レポート作成
14		講義	ダイアトニック・モード（ダイアトニック・コード・スケール）を理解し説明できる。	ダイアトニック・モード（ダイアトニック・コード・スケール）の復習レポート作成
15		講義	中間確認試験と復習	学期末課題の発表・提出。
準備学習 時間外学習			聴力、音感に関するスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ソルフェージュ2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	河田 麻 希
学科・コース	TSM渋谷研究科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。						
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ソルフェージュ1を復習理解し説明ができる	イヤートレーニング3の復習・確認レポート作成
2		講義	ペンタトニック・スケール（メジャー、マイナー）理解し説明ができる	ペンタトニック・スケール（メジャー、マイナー）の復習確認レポート作成
3		講義	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
4		講義	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
5		講義	モード・スケールを繰り返し習得し理解し説明ができる	モード・スケール確認レポート作成
6		講義	クロマチック・スケールとスケール・モードの習得し理解し説明ができる	クロマチック・スケールとスケール・モードの復習確認レポート作成
7		講義	クロマチック・アプローチを含むメロディー習得し理解し説明ができる	クロマチック・アプローチを含むメロディー確認レポート作成
8		講義	クロマチック・アプローチを含むメロディー習得し理解し説明ができる	クロマチック・アプローチを含むメロディー確認レポート作成
9		講義	転調について実践習得し理解し説明ができる	転調について実践確認レポート作成
10		講義	転調を含むメロディーを作って習得し理解し説明ができる	転調を含むメロディー確認レポート作成
11		講義	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー習得し理解し説明ができる	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー確認レポート作成
12		講義	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー習得し理解し説明ができる	ノンファンクショナル・ハーモニーにおけるメロディー確認レポート作成
13		講義	無調的なメロディー習得し理解し説明ができる	無調的なメロディー確認レポート作成
14		講義	無調的なメロディー習得し理解し説明ができる	無調的なメロディー確認レポート作成
15		講義	中間確認試験と復習	学期末課題の発表・提出。
準備学習 時間外学習			聴力、音感に関するスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				